

施策評価シート

評価年度	平成28年度	事業実施年度	平成27年度	施策主管次長名	政策推進部次長 原田 清明	
施策番号	65	施策名	にぎわいと交流のあるまち		総合計画掲載頁	100
関係課名	企画政策課、産業課、教育行政課、道路河川課					

1. 施策の概要

施策の目的	対象	市民	対象指標名	単位	H26実績	H27実績	H28計画	H29見込	H30見込	H31見込
			①人口	人	59,885	60,365	60,710	61,056	61,401	61,744
			②							
	③									
意図	・中心市街地や鉄道駅周辺地区を活性化させにぎわいを創出する ・まつりやイベントなどの開催によりにぎわいづくりを支援し、市の活性化につなげる				成果指標名	①	図書館学習交流プラザ来館者数(H27までは既存3施設の利用者の合計)			
						②	いいじゃんまつり踊り手の参加人数			
						③	三大まつり総観客動員数			

2. 成果指標

指標①	成果指標名	単位	H26実績	H27計画	H27実績	H28計画	H29見込	H30見込	H31見込
	図書館学習交流プラザ来館者数 ※開館までは既存3施設の利用者の合計	人	158,572	161,750	158,307	240,050	295,460	304,460	304,460
	指標設定の考え方と把握方法	市中心部の人の流れを図る指標として、中心部にある公共施設利用者を把握							
指標②	成果指標名	単位	H26実績	H27計画	H27実績	H28計画	H29見込	H30見込	H31見込
	いいじゃんまつり踊り手の参加人数	人	2,300	2,500	2,250	2,300	2,300	2,300	2,300
	指標設定の考え方と把握方法	まつりの活性化を図る指標として、踊り手として参加した人数を把握							
指標③	成果指標名	単位	H26実績	H27計画	H27実績	H28計画	H29見込	H30見込	H31見込
	三大まつり総観客動員数	人	111,000	115,000	117,000	117,000	118,000	120,000	120,000
	指標設定の考え方と把握方法	市の魅力化を図る指標として、三大まつりの動員数を把握							

3. 施策の評価

項目	評価のコメント				
施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	市民の参加により市民と地域が一体となって三大まつりを盛り上げることに伴い、市民相互の交流を深める。			
	行政	市民の交流やにぎわいが創出できる空間の整備を進め、人の動きに応じたまちづくり構想を策定する。			
達成度評価	近隣との比較	豊田おいでんまつり 観客数475,000人/2日間(人口比112.7%) 知立市よいとこまつり 観客数20,000人(人口比28.4%) 安城七夕まつり 観客数1,100,000人/3日間(人口比592.6%) 豊明まつり総踊り 観客数15,000人(人口比21.9%) 碧南総踊り 観客数36,000人(人口比50.2%) いいじゃんまつり 観客数28,000人(人口比46.4%)			
	過去3年間の実績との比較	三大まつりの観客動員数は、ほぼ横ばいの状況で、成果指標に大きな変動はない。			
現状と課題	◆中心市街地や駅周辺地域において、継続的ににぎわいを創出し活性化につなげるため、市民が自主的に開催するイベントに対する支援を行うとともに、土地利用の見直しを行う必要がある。 ◆市民の購買行動は、大規模小売店に集中している傾向にあるため、商業者自らが独自性のある魅力的な店づくりを行うことにより、既存商店等の魅力をアップさせることが活性化につながるようになる。				
今後の取り組みの方向性および次年度の取組	◆図書館学習交流プラザの開館による新たな人の流れに対応した中心市街地のにぎわいの創出を図る。 ◆三好ヶ丘駅周辺をカリヨンハウスを核として市の北の玄関口にふさわしいにぎわいづくりを進める。 ◆商業者自らが取り組むまちの活性化や既存商店の魅力づくりに対して市として積極的に支援する。				
	(29年度の取り組み) ・図書館学習交流プラザの開館に伴う新たな人の流れに対応して、周辺地域の民間活力を活用したにぎわいづくりを目指した中心市街地基本構想の策定。 ・三好ヶ丘駅周辺魅力づくり計画に基づく駅前広場再整備の実施設計。 ・商業者に対して、商工業活性化補助金等を活用した支援による商業の活性化				
市民意識	重要度	低い	満足度	低い	平成27年度市民アンケート調査による